令和６年度事業報告

１．概要

我が国に於いては、人口減及び少子高齢化が年々進行している中、地域の人手不足や地域活性化が大きな課題となっており、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が、年齢に関わりなく活動を続ける「生涯現役社会」の実現及び「人生 100 年時代」を見据え、高齢者の生きがいの充実や居場所づくりを担っているシルバー人材センターには、多くの期待が寄せられている状況です。

当センターでは、地域の高齢者が長年培ってきた豊富な経験と知識及び技能を活かすことができる就業機会を確保し提供することにより、健康の維持増進を図ると共に社会参加を促進し、地域社会づくりに貢献してきているものと考えています。

また、会員の減少に伴う影響も大きく、会員増加や退会抑制に繋がる施策が必要となっています。昨年導入したゴールド会員制度については、退会抑制に一部貢献できたとは思いますが、全シ協の会員拡大方針が新たに策定されたことに伴い、会員増加策について重要性が増し、今後の大きな課題であると言えます。

事業実績については、令和６年度に利用料金及び事務費の改定を実施したことにより、前年度対比 14,238 千円の増で実績額は 171,693 千円となっています。また、就業率については、未就業会員対策等を行いましたが、前年度対比 0.4 ポイント減の 96.0%となっています。

今後も公益社団法人として、市町民の皆様の信頼を得ながら、センターの基本理念を認識し、公益性を自覚してセンターの運営を行って参ります。

事業実績結果

（１）受託事業（一般）

会員の就業機会の確保及び会員の拡大を図るため、普及啓発部会を中心に市町の広報誌やホームページの活用の他、街頭チラシの配布など広報活動を積極的に行いました。

会員の希望や能力等に応じて、公平な就業機会の提供に努め、適正就業基準の推進、ローテーション就業などを進めました。

就業実績（派遣事業を含む）

項目	令和６年度	令和５年度	増減
年度末会員数	301 名	309 名	△8 名
就業実人員	289 名	298 名	△9 名
就業率	96.0%	96.4%	△0.4ﾎﾟｲﾝﾄ
契約金額	171,692,648 円	157,454,456 円	14,238,192 円

（２）受託事業（業務委託）

ア　小郡市高齢者社会活動支援センター管理業務

高齢者が持つ技能、技術、趣味及び特技を活かすことで、高齢者自身の生きがいを創

出するための拠点づくりとして設置された小郡市高齢者社会活動支援センターも 19 年目を迎えました。センターでは多目的ホールを利用して、高齢者が若い母親の育児支援を行うための託児ルームを毎週水曜日に設置し、多くの方にご利用頂きました。また自主事業として、地域の高齢者を対象にパソコン教室などを開催しました。

会館利用者数　（単位：名）

部屋名	多目的ホール	会議室	合計
令和６年度	3,933	5,330	9,263
令和５年度	4,170	3,471	7,641

イ　ファミリー・サポート・センター事業

小郡市から委託を受けて事業運営を行っているファミリー･サポート･センターは、開設から 10 年になります。会員は 4 倍、利用件数に至っては 14.3 倍と、この 10 年で大きく成長しました。活動の担い手である協力会員は、ファミサポ運営の要であり、依頼会員から頼りとされるところですが、会員の高齢化に伴い、実動できる会員が限られ、今後の活動に支障が出る可能性が高く懸案となっています。

今年度は、市民にファミサポのことをもっと知ってもらうため、登録の説明や何でも質問コーナーを設け、地域に出向きました。一人でも多くの方に関心を持って頂き、活動の輪を広げていくため、今後も続けていきたいと思います。

また、講習会の受講数が足りずに登録ができない方への声掛けや、依頼会員から両方会員へ移行して頂ける会員の掘り起こしなど、様々な取り組みを行うことで、昨年度に続き、前年度の一割強の協力会員の入会に繋げることができました。

＜会員登録数＞　＜利用件数＞

	依頼会員	協力会員	両方会員	会員合計	預かり	送迎	利用合計
令和 6 年度	384 名	80 名	12 名	476 名	285 件	932 件	1,217 件
令和 5 年度	372 名	74 名	9 名	455 名	196 件	937 件	1,133 件
平成27年度	71 名	46 名	3 名	120 名	65 件	20 件	85 件

（3）独自事業

高齢者の就業機会拡大のため、会員の創意と工夫により、就業を創出する事業として、刃物研ぎ、エアコン清掃、パソコン教室、石焼きいも販売、しめ縄販売、野菜販売、木工品販売の７つの独自事業を実施しました。

エアコン清掃では、夏季の猛暑の影響と市のゴミカレンダーに効果的なＰＲをしたことで、多くの清掃依頼があり、多数の方にご利用いただきました。

木工品販売はふるさと納税のニーズの変化もあり売上が大きく減りましたが、イオン小郡店やこども園、公民館におけるワークショップの開催で実績を維持することができました。ワークショップでは小さな子どもから高齢者までの多世代間の交流ができ、参加者の「楽しかった」の声は、会員の励みとなっています。

契約金額実績　（単位：円）

職種	令和６年度	令和５年度	増減
刃物研ぎ	1,182,440	1,152,330	30,110
エアコン清掃	3,086,000	2,110,000	976,000
パソコン教室	377,170	380,070	△2,900
石焼きいも販売	2,713,980	2,751,365	△37,385
しめ縄販売	125,400	286,420	△161,020
野菜販売	340,040	309,950	30,090
木工品販売	348,336	330,720	17,616
合　計	8,173,366	7,320,855	852,511

（４）労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の小郡大刀洗事務所として、臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務の範囲において、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣事業を実施しました。また、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、福岡県シルバー人材センター連合会と連携し、入職時訓練及び１年訓練を実施しました。

派遣事業実績

	令和６年度	令和５年度	増減
受注件数	58 件	55 件	3 件
契約金額	43,516,036 円	44,410,501 円	△894,465 円
手数料収入	2,610,103 円	2,662,120 円	△52,017 円

（５）普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するため、次の事項を重点に効果的な普及啓発活動を推進しました。

ア　全国普及啓発促進月間の取り組み

・役職員、会員による街頭チラシ配布
・小郡市長、大刀洗町長への要望活動
・県道鳥栖朝倉線のボランティア清掃作業（中止）
・総合保健福祉センター「あすてらす」にてＰＲ用ＤＶＤの放映

イ　広報活動

・会報「あすなろ」第 64 号、第 65 号を発行し、全世帯配付
・小郡市、大刀洗町の広報誌を活用したＰＲ

・公共施設へのポスター掲示
・ホームページによる会員募集の動画掲載
・小郡市役所シティナビタ番号案内にて会員募集広告を放映
・大刀洗町役場モニター画面にて会員募集ＰＲ画像を放映
・女性会員拡大及び就業拡大推進

ウ　地域交流活動
・地域の小学生を対象にした夏休みこども工作教室の開催
・大刀洗町ドリームまつりへの参加
・シルボンヌ委員会「Café こうのとり」の活動開始

エ　社会参加活動
・宝満川一斉清掃（中止）・花火大会会場清掃・西鉄小郡駅前周辺清掃
・ひばりロードレースコース清掃（中止）・大刀洗町運動公園清掃除草

（6）安全就業推進事業

ア　全体の状況

シルバー保険に関しては、加入を継続できるか不安な状況に置かれていましたが、令和６年度はここ数年続いていた多額な賠償事故も無く、まずは安堵したところです。

１０月に実施された福岡県シルバー人材センター連合会による安全パトロールでは、当センターの安全取組みにおおむね合格点をいただきましたが、安全就業基準、作業別安全就業基準のさらなる周知と遵守徹底を図り、結果として事故削減を実現するよう指導されました。

イ　傷害事故、賠償事故

令和６年度は植木剪定班と刈払班の事故が大幅に減り、刈払班では事故ゼロを達成したことが特筆されます。植木剪定、刈払における事故削減は全てのシルバー人材センター共通の課題であり、当センターでも毎年事故件数の半分以上が両職群によるものとなっていました。高齢者の仕事としては難易度の高い作業ですが、会員の日々の努力の結果が数字に表れたものと評価されます。他方で、全体の件数としてはかろうじて二桁を割ったものの半減とまではならなかった要因として、これまで事故がほとんど無かった事務系や管理等の職種での事故が増加したことが挙げられます。

年度	傷害事故	賠償責任事故	交通事故（物損）	合計
令和６年度	３件	３件	３件	９件
令和５年度	５件	４件	３件	１２件

ウ　安全就業委員会

安全就業委員会では現場の状況を適切に把握するため、従来の計画的な安全パトロールに加えシークレットパトロールとして特に暑さの厳しい時季、日時を特定せずに屋外作業現場を巡回しました。通常のパトロールと合計１８回、６９か所の現場では会員が懸命に作業をしていましたが、さらに細かい安全配慮が望まれました。

近年、便利な電動工具が増え、そうした工具の使用を希望する声が委員会に届くようになりました。作業性が向上する一方で新たな危険性を生じる場合もあり、委員会では慎重に協議をしました。剪定時のハンディチェーンソー使用については、試行的に認め安全な使用の継続が可能か判断することとなりました。就業会員の高齢化が進む中で、受注時の作業内容の制限と共に作業方法による負荷軽減は今後も課題としてまいります。

除草班会員が刈払機を使用して発生した賠償責任事故については、臨時に安全就業委員会を開催し、３０日の就業停止措置を適用しました。

（７）相談事業

ア 入会説明会・入会相談会の開催

シルバー人材センターに興味を持たれている高齢者のために、入会希望者説明会を、小郡市と大刀洗町でそれぞれ毎月２回開催し、入会しようと思われた方には、その後入会申込者説明会を開催し、センター事業をよく理解したうえで会員登録をして頂きました。

入会希望者説明会実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	7	7	5	7	6	9	9	6	7	10	17	9	99

イ 就業相談の実施

令和7年1月に会員を対象に就業相談日を設け、就業相談を行いました。また、地域の高齢者を対象に、来訪や電話による就業相談や入会促進を行いました。

（８）研修・講習事業

就業に必要となる基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため、講習会及び研修会を実施しました。

講習会実施状況

講習会名	内　容	参加人数
掃除講習	家庭での掃除のやり方について	14
子育て支援講習	こどもの預かりと安全について	32
接遇講習会	地域に求められるシルバー人材センターを目指して	219
チェーンソー取扱講習会	チェーンソーの安全な取扱いについて	17
自動車安全運転講習会	自動車使用における検証・実技	16
合　計		298